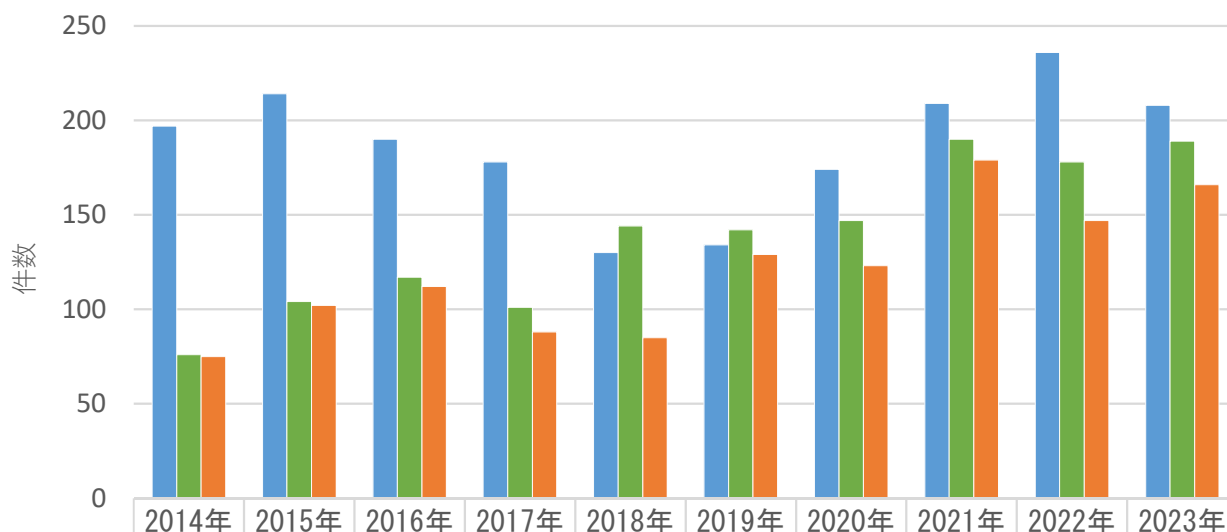


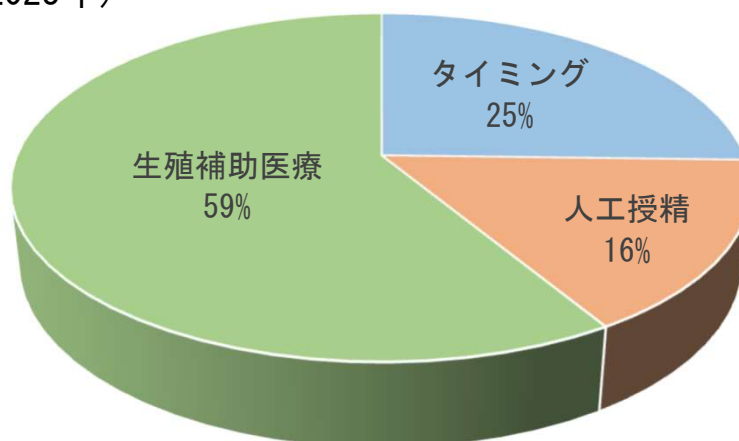
治療実績

当センターにおけるこれまでの治療実績です。

I. 年別の人工授精・採卵・凍結融解胚移植件数の推移 (2014年～2023年)

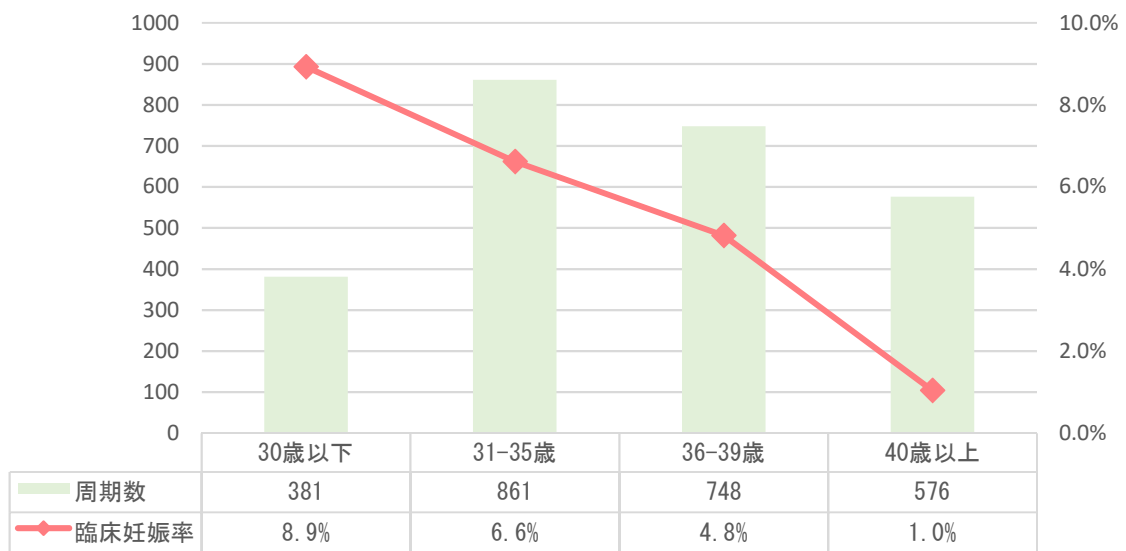


II. 妊娠された患者さんにおける治療方法の内訳 (2012年～2023年)



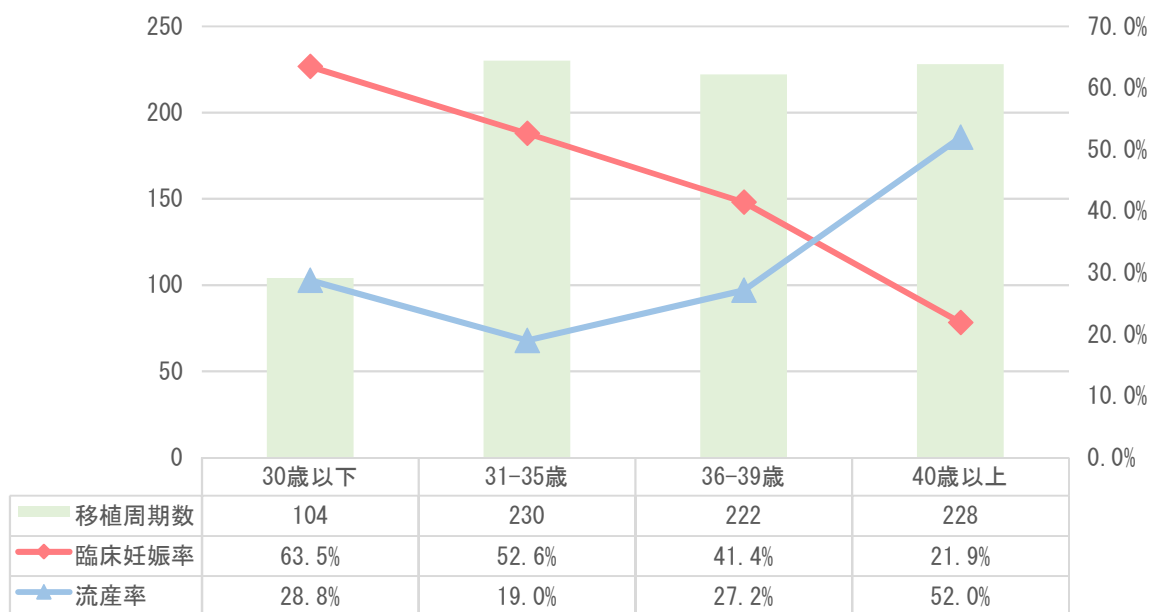
妊娠された患者さんの内訳は、生殖補助医療（体外受精・顕微授精・胚移植）が一般不妊治療（タイミング療法と人工授精）よりも多い割合を占めています。

III. 人工授精の臨床妊娠率（2008年～2023年）



人工授精の臨床妊娠率は、年齢の上昇に伴い低下します。特に40歳以上では顕著に低下するため、早期のステップアップを提案しています。
 ※臨床妊娠とは、子宮内に胎嚢を確認出来た妊娠です。

IV. 融解胚移植の臨床妊娠率（2018年6月～2023年）



融解胚移植においては、年齢の上昇に伴い臨床妊娠率は低下し、流産率が上昇します。